養殖真昆布のオーナー制に取り組んで
－私たちが責任をもって管理させていただきます！－

南かやべ漁業協同組合青年部大船支部
丸谷（まるや）　光日東（みつひと）

1　地域の概要

私たちの住んでいる函館市は、平成16年12月１日に旧函館市、南茅部町、椴法華村、恵山町、戸井町の５つの市町村の合併により新しく誕生した。人口は約30万人で北海道内では３番目に大きな都市である(図１)。

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、北・東・南の三方が太平洋と津軽海峡とに面している。異国情緒あふれる街並みや遺跡などの歴史的な文化遺産に加え、活火山の恵山や温泉施設などの豊富な観光資源にも恵まれており、多くの観光客が訪れている。

2　漁業の概要

私たちの所属する南かやべ漁業協同組合は、平成15年４月１日に旧南茅部町内６漁協の合併により誕生し、組合員数は道内で最も多い1,287名である。

主な漁業は、サケ・イカ・ブリ・マグロなどの定置網漁業、スケトウダラ・ホッケ・カレイなどの刺し網漁業、コンブ・ホタテなどの養殖漁業で、そのほか、イカ釣り漁業、タコ漁業、採藻漁業、ウニ漁業などが営まれている。平成15年の水揚げ数量は約５万トン、金額は約86億円であった(図２)。このうち天然・養殖を含めたコンブの水揚げ金額は約37億円で、全体の43％と重要な位置を占めており、『白口浜真昆布』として、各地に出荷されている。

3　研究グループの組織及び運営

南かやべ漁協青年部大船支部は、南かやべ漁協青年部の下部組織として大船地区の青年部員24名で構成されている。役員は支部長１名、副支部長３名、会計１名、監事１名である。

主な活動は、地域の公園清掃・管理、漁港清掃、養殖施設航路標識灯の管理、地域の祭りへの参画等である。

4　研究・実践活動課題選定の動機

私たちは、養殖昆布の育成管理から製品作りまで携わっているが、昆布製品の販売はすべて組合に任せているため、「どのような人が昆布を買ってくれているのか。」また、「どのような昆布が求められているのか。」ということをあまり知らなかった。

そこで、「組合に頼ってばかりではなく、自分たちが作った製品を自分たちで売って、消費者のことをもっと知りたい。」と組合の職員に打ち明けたところ、大いに賛同して下さった。お互い何度か話し合っていく中で、「養殖に使用している５ｍの養成綱１本から採れるいろいろな昆布製品を届ける仕組みにすれば、どの時期にどんなものが採れるのか知ってもらえるのではないか！」ということになり、私たちの『養殖真昆布のオーナー制』への取り組みが始まった。

5　研究・実践活動状況及び効果

（１）『オーナー制』取り組み方法の検討

平成15年４月にオーナーの募集方法や製品の発送方法等について組合に相談したところ、既に昆布製品の産直を手がけていた町営地場産業振興センター（現在は組合の直販加工センター（以下センターとする））が、オーナーの受付や製品発送等の窓口業務を担当してくださることになったため、センターと組合製品課に相談しながら、発送する昆布製品の種類や時期、料金、オーナー募集方法等について具体的な検討を始めた(写真１)。

昆布養殖は、秋に種付けをしてから何度も手を掛けて育成し、早春には実が薄く柔らかい昆布『早煮昆布』が、夏には実入りの良い昆布『成昆布』が採れることから、年に２回、早煮昆布を５月に、折昆布、棒昆布、根昆布の成昆布製品を10月に発送することに決めた(表１)。更に、通常養成綱１本から採れる量から計算して、早煮昆布は２kg、折昆布と棒昆布は各３kg、根昆布は200～300ｇを目標に育成管理することになった。

オーナー１口あたりの料金は、「できるだけ安くして、多くの人に食べてもらいたい。」という思いから、養殖昆布の育成管理費、製品加工費、送料、通信・事務費等を考慮した上で消費税込み２８，３５０円に設定した。

募集方法については、まず『日本一昆布の里オーナー会』を設立した上で、オーナーにはその会員になっていただくという形にし、センターのホームページを利用するほか、ダイレクトメールにパンフレットを同封してセンターの通販顧客等に発送することにした。そして、募集時期は養殖昆布の種付けを始める平成15年10月末までとした。

更に、昆布の生育状況や沖での作業の様子等を知らせるため、それぞれの養成綱にオーナーの氏名を記載した浮き玉を取り付け、仕事の合間に写真撮影したものをホームページ上で公開することにした。

（２）オーナーの募集

オーナー募集のパンフレットには、養殖昆布についての説明、昆布養殖風景や発送する製品の写真、そして青年部員の顔写真を掲載した上で、『私たちが責任をもって管理させていただきます！』というメッセージを書き添えた(写真２)。

平成15年６月には、部員が集まってパンフレット等の折り込み作業を行った上で、約1，600通のダイレクトメールを発送した。

募集期間中の８月から９月にかけては、今回の取り組みを新聞、業界紙、ラジオやテレビ番組に取り上げていただいたこともあり、私たちの期待は高まっていった。

10月末の締切りまでに、私たちの予想をはるかに越える75名(76口)の申し込みを受けた。応募者は、地元北海道から南は九州熊本県までの全国各地からで、私たちは、これらの応募に対して嬉しく思うとともに、オーナーの昆布を預かるという大きな責任を感じた。

早速、青年部員が集まって会議を開いた結果、将来漁協ブランドとして確立するために、部員の中から昆布養殖を営む正組合員14名が責任を持って生産に携わることにした。そして、各オーナー毎に担当する部員を決め、オーナーには『オーナー会認定証』の他、担当者の名前と顔写真が入ったお礼状を郵送した(写真３、４)。

（３）早煮昆布の発送とアンケート結果

平成16年２月から３月にかけて若生いの昆布を水揚げ、寒干しして30cmの長さに切り揃えて早煮昆布を作製した(写真５)。１月には大時化の被害に見舞われたにも拘わらず部員

間で協力しあった結果、目標としていた１口あたり２kgの製品を確保することができた。

製品は、それぞれの部員が自宅の倉庫で段ボールに詰め、漁協職員に品質を確認していただいた上で、お礼状とアンケートを添えて５月に発送した(写真６)。

アンケートは、平成16年８月末までに16名の方から回答をいただいたが、今回の『オーナー制』の取り組みに対しては、殆どの方が「良い取り組みである。」との回答であった。

また、早煮昆布を美味しく食べていただけたかと心配していたところ、「美味しい。」「柔らかい。」「風味が良い。」と喜んでいただいた方が多く、活動の励みになった。しかしながら、「早煮コンブの食べ方がわからない。」「塩辛い。」「量が多すぎる。」など、私たちが気づかなかった消費者の生の声を聞くこともでき、『消費者のニーズ』をより一層意識する良いきっかけとなった。

また中には、私たちの顔写真入りのお礼状を見て、「生産者の顔が見えて良い。」「安全なものを安心して入手できて良い。」という意見があり、近年注目されている『生産履歴(トレーサビリティ)』という観点からも良い評価を受けたのではないかと思う。

(４)折昆布、棒昆布、根昆布製品の発送

平成16年７月から８月にかけて養殖昆布の水揚げは最盛期となり、その後、10月初めまでに折昆布、棒昆布、根昆布のオーナー向け製品づくりを終えた(写真７、８)。また、昆布本来の姿を見ていただきたいという思いから、予定していた製品以外に、１本の昆布を伸して丸めたものも追加して段ボールに詰めた(写真９)。

そして10月中旬には、昆布製品の他、お礼状とアンケート、更には、美味しくいただいてもらうために『昆布料理のレシピ』を同封して発送した(写真１０)。今は、オーナーのアンケート結果や感想を楽しみに待っている。

６　波及効果

(１)昆布養殖や製品づくりの方法等、私たち『生産者の顔』が直にわかるようにして消費者に製品をお届けするという今回の新しい取り組みにより、青年部員の「責任を持って、安全・安心な食品を提供しよう。」という思いが強くなった。

(２)グループでの取り組みを通して、青年部員同士の意見交換が活発になり、「同じ品質の良いものを作ろう。」「自分だけへんな製品は出せない。」といった良品作りへの意欲や取り組みに対する責任感が生まれた。

(３)今回の取り組みによって、『白口浜真昆布』を多くの人に知ってもらえる良いきっかけになったのではないかと思う。

７　今後の課題や計画と問題点

今回お届けした養成綱１本分の昆布は、「消費者１軒分としては多すぎる。」との意見もあったため、消費者側の立場に立って『本当に欲しい昆布の種類と量』について検討していきたい。その中でまず次年度は、折昆布の量を増やして棒昆布の量を減らす等、オーナーの希望に沿って対応していくつもりである。

更に将来的には、オーナーの養殖施設見学や養殖管理作業体験等を企画して私たち生産者との交流を図り、オーナー自身の昆布に愛着を持っていただきたいと考えている。

今後も消費者の生の声を大切にし、オーナーとの付き合いを息の長いものに育て、私たちの後の世代に残していきたい。

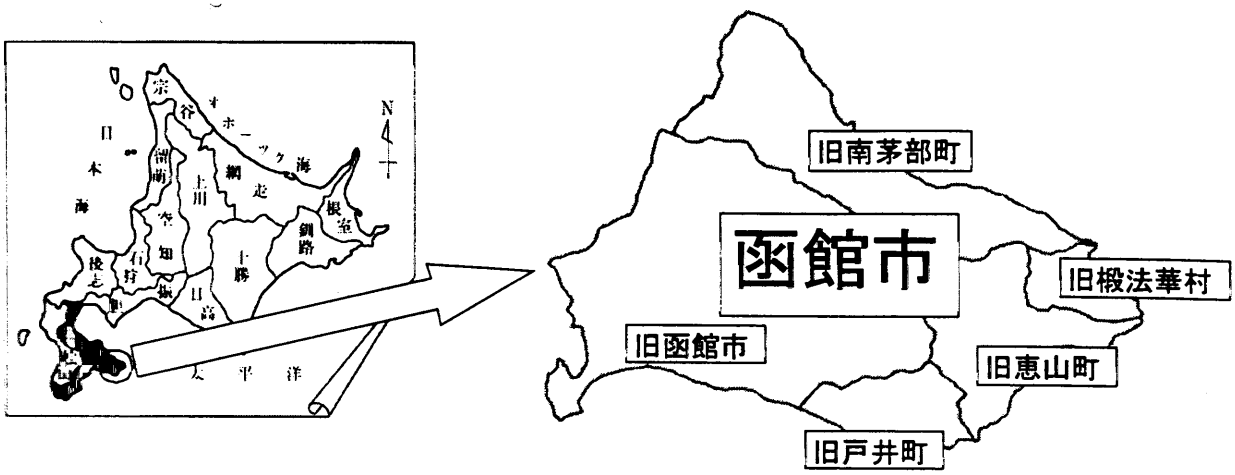


図1　地域図

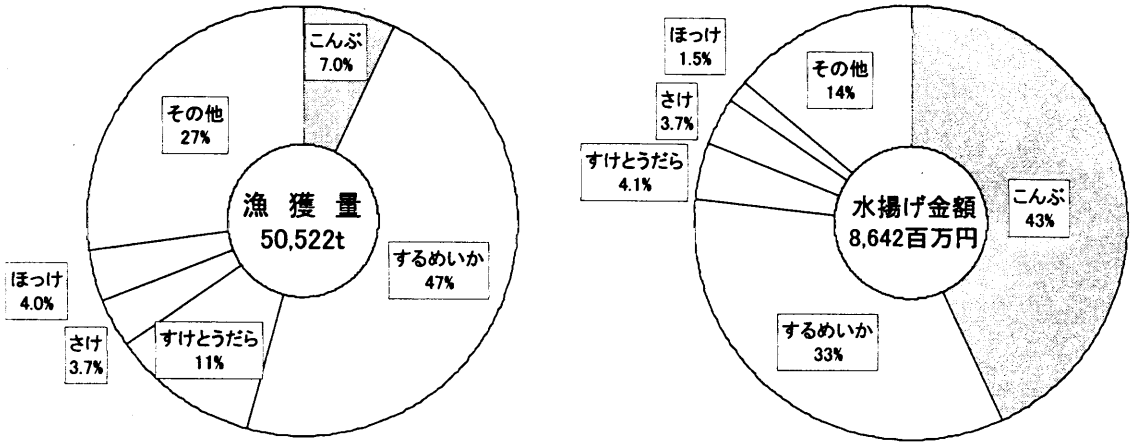
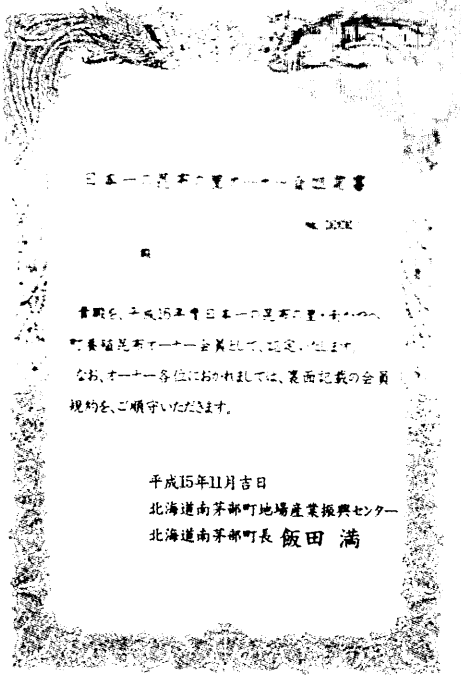


図2　平成15年南かやべ漁協魚種別生産高

表1　養殖コンブ生産工程

平成15年			平成16年									
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
種昆布養殖開始（沖出し）				早煮昆布水揚げ・乾燥		早煮昆布製品作り			成昆布水揚げ・乾燥	成昆布製品作り	成昆布製品作り	
		（育成管理）			（育成管理）			（育成管理）				

写真1　打ち合わせ風景



日本一昆布の里オーナー会認定書

殿

貴殿を、平成15年度日本一昆布の里・まこんぶ
町長箱昆布オーナー会員として、認定いたします
なお、オーナー各位におかれましては、裏面記載の会員
規約を、ご順守いただきます。

平成15年11月吉日
北海道南茅部町地場産業振興センター
北海道南茅部町長 飯田 満

写真3　オーナー会認定書

写真2　パンフレット

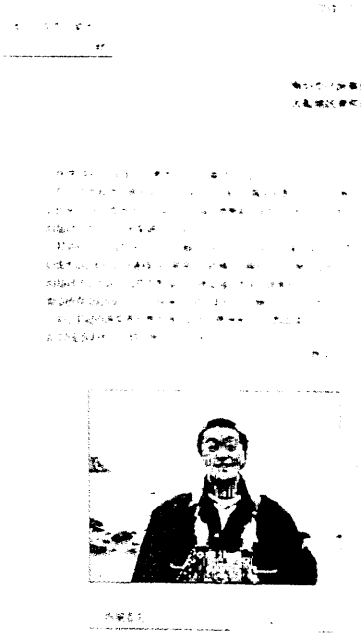


写真4　お礼状

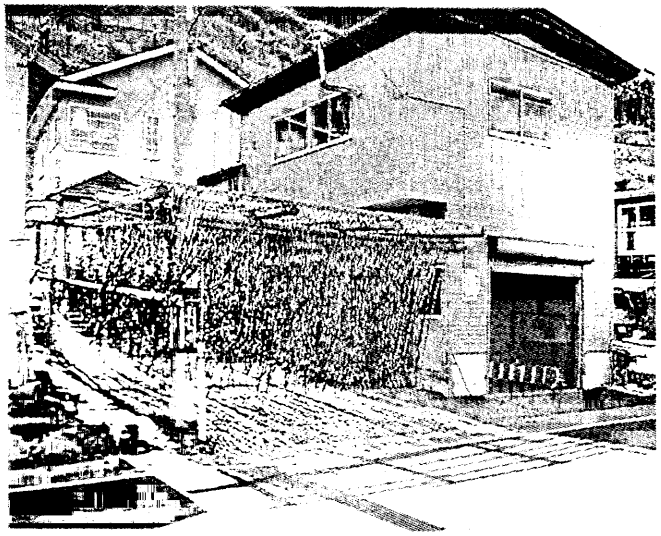


写真5　早煮昆布寒干し風景

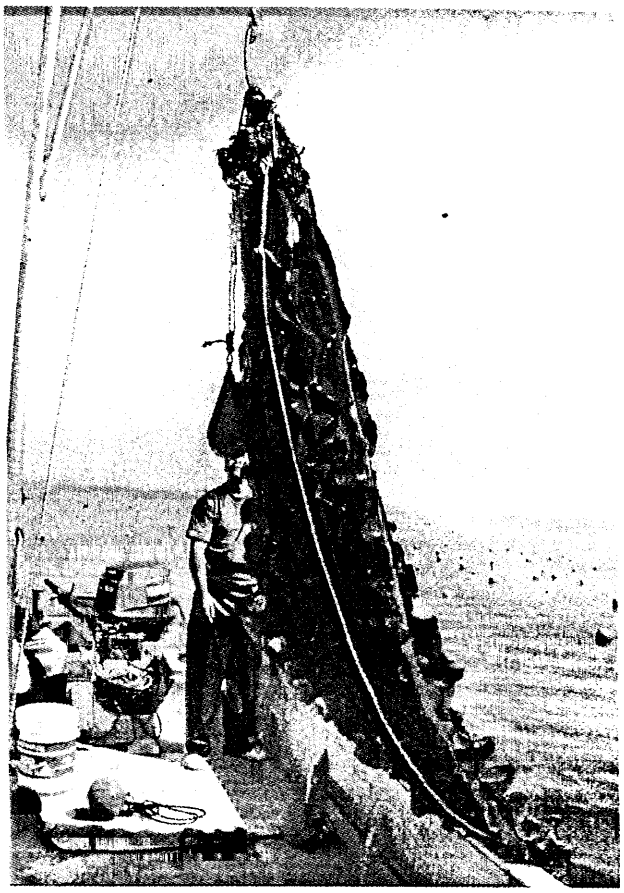


写真7　沖での養殖作業風景

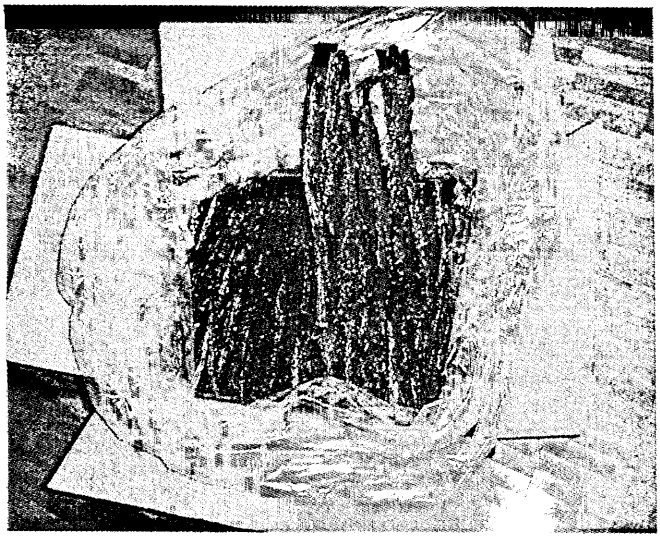


写真6　早煮昆布製品

写真8　昆布製品加工風景

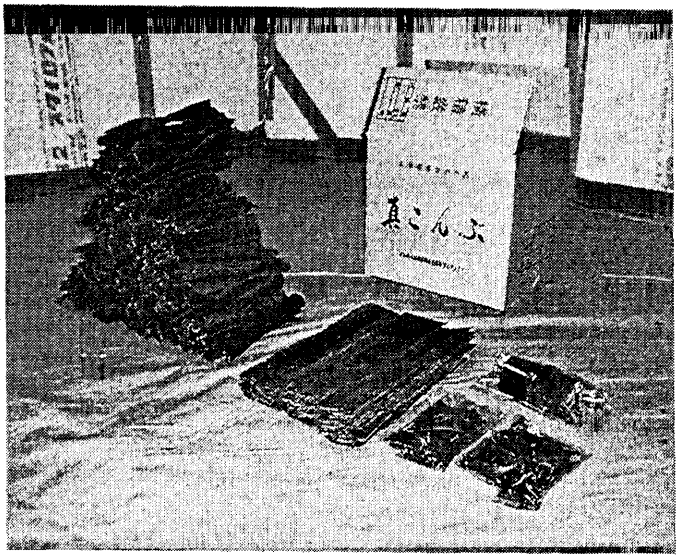


写真9　折・棒・根昆布製品

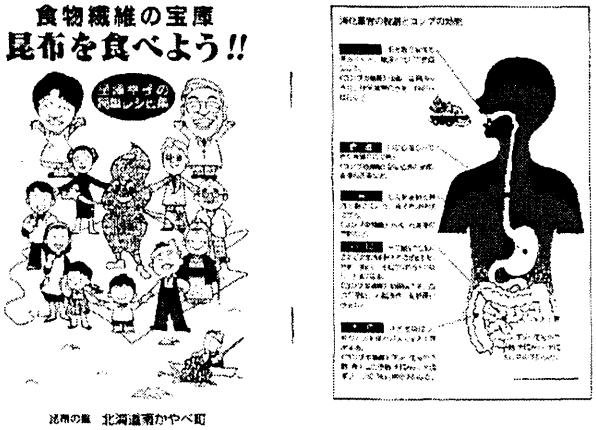


写真10　昆布料理レシピ集